

熊本日日新聞 読者の広場 若者コーナー

令和元年10月20日掲載

1年2組 神崎美慧

道徳の時間に「いじめ」に関する勉強しました。最初に教科書のイラストを見て、いじめだと思った所に丸をつけ、話し合いを行いました。

私は、いじめをしている人、いじめを受けている人、そして、いじめを見ている人に丸をつけました。クラスのみんなも同じように考え、同じような思いで丸をつけたと思います。しかし、意見を合わせてみると、自分と同じ所に丸をつけている人もいれば、つけていない人、全く違うところに丸をつけている人もいました。私は、「なぜ、そこに丸をつけなかったの」と意見を聞くと、その場面は「遊び半分でやっているように見えた」や「周りの人は見ているだけでいじめていないから」など自分とは違う意見に出会いました。様々な意見を聞いて、私はみんな同じように丸をすと思っていたのに、考えが違って、人それぞれ考え方があったのだと思いました。

一人一人が違うから周りで笑っている人がいたり、ふざけてからかい、相手が悲しんでいることに気づかなかつたりすることが起こると思いました。そこで私は、相手のことを考えて行動しないと後悔すると感じました。